

演題名	管内における育種価の活用の現状と課題		
発表者 氏名	神戸三希	所属	飯田家畜保健衛生所
<p>育種価評価を活用した和牛改良指導をさらに効果的に実施するため、管内の畜産関係者を対象にアンケート及び聞き取り調査を行い、育種価の現場における理解・活用度の把握及び今後の改良指導における問題点等を検討した。</p> <p>今回の調査は、管内の5農業協同組合の畜産技術員10名とその農業協同組合が所管する畜産農家54戸を対象に実施した。</p> <p>その結果、農家の育種価に対する理解度が低いことと、未だに系統重視の交配方法に依存していることがわかり、育種価評価についての理解を深めるための普及啓発が必要と考えられた。</p> <p>今後の対応として、農家巡回の際に畜産農家と直接会話して現状を的確に把握し、農家の信頼をより一層強化させること、また、育種価評価の高い牛が繁殖障害により淘汰される事例があることから、診療獣医師との連携を図ることが必要と考えられる。また、地域の農家を対象とした講習会の実施や交配シミュレーションソフト等の普及により育種価への関心は飛躍的に高まると考える。</p>			